

みをつくし劇団 第六回公演

作・しのはらたけのり 演出・新山アキコ



敵か!
味方か?

三方ヶ原

あたしたちマジメに戦国やっています。



TEKIKA

MIKATA

MIKATAKA

GAHARA



【会場】 みをつくし文化センター

【チケット】 前売券 1,000円 当日券 1,500円 (全席自由・未就学児 無料)

前売予約が定員(各回 400人・先着順)に達した場合、当日券はキャンセル分のみ販売となります。

【販売窓口】 4月17日(火)午前9時よりみをつくし文化センターにて(電話予約も可)

【お問合せ】 みをつくし文化センター 〒431-1305 浜松市北区細江町気賀 369 番地

☎053-523-3116 ホームページ <http://miwotsukushi.web.fc2.com>

主催: みをつくし文化センター指定管理者 東海ビル管理株式会社

後援: 浜松市 浜松市教育委員会 中日新聞東海本社 ウィンティ 静岡新聞社・静岡放送 朝日新聞静岡総局 K-mix FM Haro!

2018年

6月10日(日)

昼の部 13:00 ~ 14:30

夜の部 18:00 ~ 19:30

※開場は、開演の45分前から。

みをつくし劇団 第六回公演

敵か! 味方か? 三方ヶ原

作・しのはらたけのり 演出・新山アキコ

今度の「みをつくし劇団」は、誰も知らない三方ヶ原合戦の物語。

元龜三年（一五七三年）十二月、風林火山の旗を押し立てて、甲斐の武田信玄が遠江へと進軍。徳川家康公の居城、浜松城へと迫る。討つて出るのか、それとも籠城か。浜松城内では徳川重臣たちの軍議が続く。しかし、それをあざ笑うかのように武田信玄は全軍を浜松城から北の三方ヶ原へと転進させた。

このまま武田軍を見送り、城に籠もっていたとあつては徳川武士の名折れ。家康公は徳川四天王を始めとする軍勢に浜松城からの出撃を命じ、武田軍を追撃する。だが、これは「罨」。三方ヶ原では戦国最強と恐れられた武田軍が、手ぐすね引いて徳川軍を待ち構えていた。世に言う「三方ヶ原合戦」の始まりである。

その頃、全軍出撃し、わずかばかりの守備兵とおなご子どもと年寄りが残る浜松城で、もうひとつの戦が始まるうとしていた。手薄になった城内で練り広げられる愛憎と陰謀。誰が味方で、誰が敵か。疑心暗鬼か、七転び八起きか。あの三方ヶ原合戦の裏で、誰も知らない徳川家存亡に関わる物語があつたのだ。

井伊谷三部作の完結後、みをつくし劇団が満を持して放つ新境地。愛と勇気と笑いと涙の地域密着ドラマティックシアター。ご家族やお友だちをお誘い合わせの上、

ぜひともご来場ください。



＜お問い合わせ＞
みをつくし文化センター
(指定管理者 東海ビル管理株式会社)
〒431-1305 浜松市北区細江町気賀 369
TEL.053-523-3116 FAX.053-523-3126

＜交通アクセス＞

- 天竜浜名湖線「気賀駅」より徒歩1分
- JR浜松駅(北口)バスターミナル15番乗り場から「40尾張町市役所 聖隷三方原病院気賀」行きで、「気賀駅前」下車、徒歩1分。

